

# OKAMURA REPORT

第86期 中間報告書 2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日 | 証券コード：7994



CYNARA

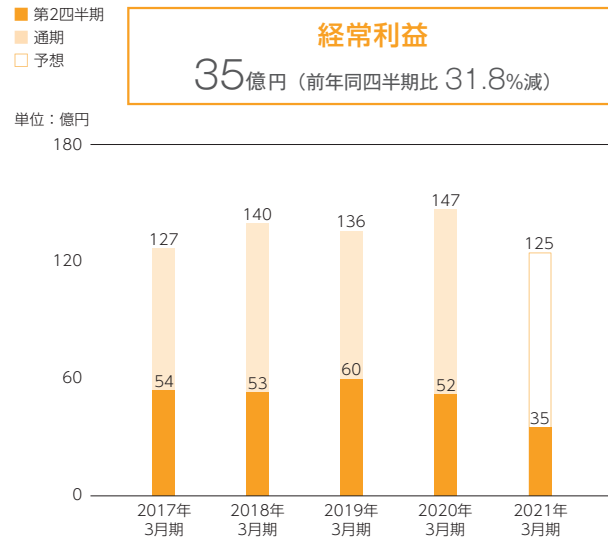
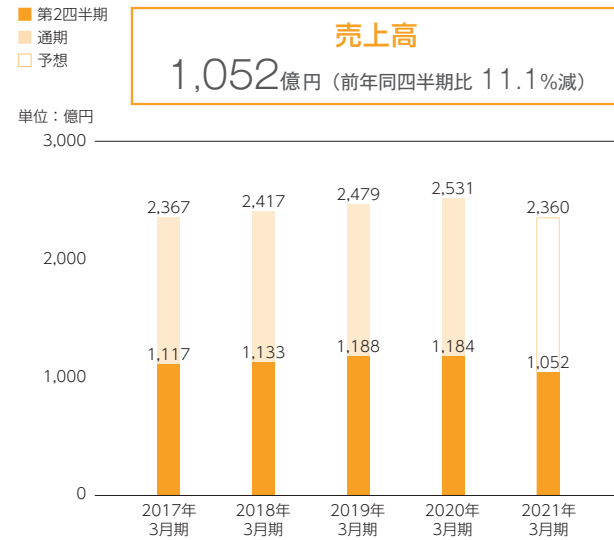
**okamura**

# OKAMURA At a Glance

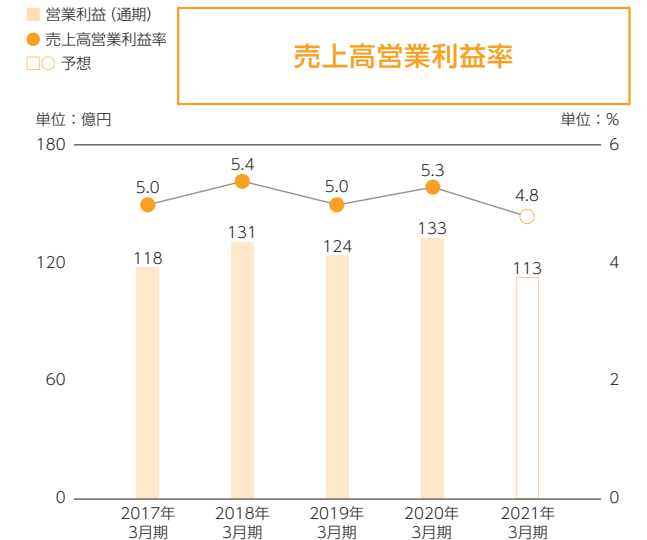
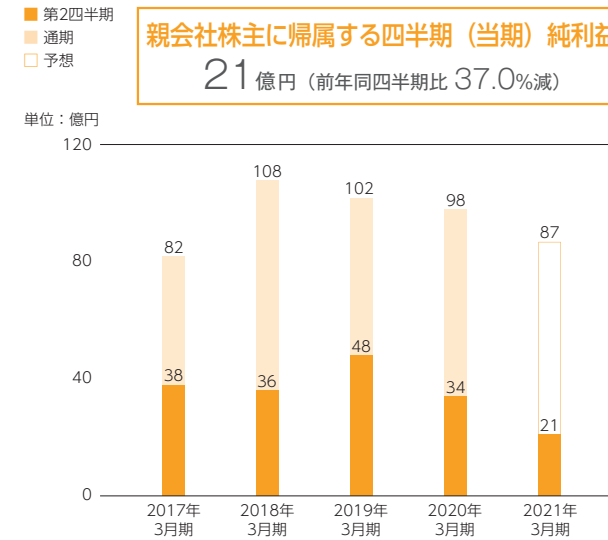
第86期 第2四半期  
決算のポイント

- オフィス環境事業は新型コロナウイルスの影響で新たな需要も発生したが、中小規模の取引が大幅に減少し減収
- 商環境事業は新型コロナウイルスの影響で小売店市場が繁忙を極め、店舗改装の物件延期などにより減収
- 物流システム事業は省人省力化需要が堅調、受注済み案件は新型コロナウイルスの影響も軽微で過去最高売上

## 第86期 第2四半期 決算ハイライト (連結)



▶ より詳細な決算情報は、右記のQRコードよりアクセスいただき、当社IRトップページからご覧いただけます。

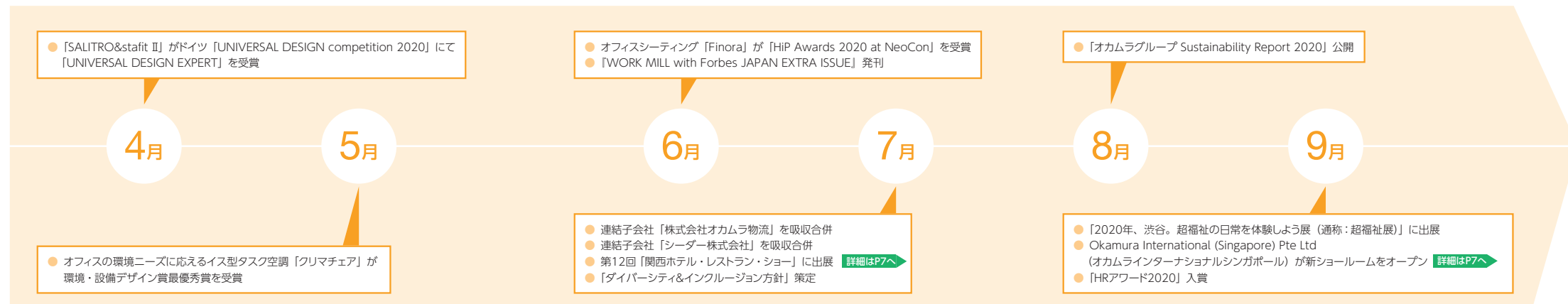


## 事業別ハイライト



	売上高構成比	売上高	営業利益
■ オフィス環境事業	51.9%	546億円	17億円
■ 商環境事業	39.2%	412億円	3億円
■ 物流システム事業	7.1%	74億円	8億円
■ その他	1.8%	19億円	△1億円

## 上半期 ニュース & トピックス



コーポレートメッセージ

豊かな発想と  
確かな品質で、  
人が集う  
環境づくりを通して、  
社会に貢献する。



代表取締役 中村 雅行

この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、及び困難な状況におられる皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い事態の収束をお祈り申し上げます。

### 当第2四半期の概況について

当第2四半期連結累計期間の国内経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に、雇用・所得環境の悪化が続き経済活動が停滞する動きとなりました。緊急事態宣言解除後も企業業績の悪化による設備投資抑制・経費削減という当社グループを取り巻く環境は極めて厳しい状況ではあるものの、感染拡大防止策を講じつつ経済活動は徐々に再開されており、今後緩やかに回復に向かうと考えております。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症対策としての在宅勤務における働く環境の調査結果及びニューノーマルのワークプレイスを考える指針となるレポートを公開するなど社内の知見を活かした情報発信や、自

らウィズコロナの働き方に挑戦するとともに、特徴ある製品づくりやトータルソリューション提案による新しい市場創出に努めてまいりました。また、当第2四半期連結会計期間半ば以降、急激に活発化したお客様の要求に応えるべく対応してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高105,294百万円（前年同四半期比11.1%減）、営業利益2,859百万円（前年同四半期比37.0%減）、経常利益3,561百万円（前年同四半期比31.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,155百万円（前年同四半期比37.0%減）となりました。なお、当第1四半期連結会計期間は前年同四半期比で大幅な減益となりましたが、当第2四半期連結会計期間の売上高は微減、営業利益は各セグメントとも増益に転じております。

なお、前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「物流システム事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

### 事業別セグメントの概況について

#### ▶ オフィス環境事業

オフィス環境事業につきましては、オフィスの大型移転需要は概ね計画通りに推移いたしました。一方、働き方改革など新しいオフィスづくりへの動きは、業種・規模を問わず全国の幅広い企業層に広がっており、さらに、コロナ禍での働き方の変化の急速な動きにより、なお一層活発化しています。このような状況のもと、新しい働き方や環境を実践・検証する実験オフィス「ラボオフィス」での実証結果や自社での働き方改革における様々な施策の実践により得られた知見を活かし、新しいオフィスづくりの提案を積極的に展開いたしました。営業自粛の影響もあり、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、54,667百万円（前年同四半期比11.0%減）、セグメント利益は、1,797百万円（前年同四半期比37.6%減）となりました。

#### ▶ 商環境事業

商環境事業につきましては、当社の主要顧客である食品スーパー、ドラッグストア等小売業を中心に、コロナ禍における店舗運営の繁忙により改装需要が大きく停滞いたしました。その後急激に回復してきております。このような状況のもと、店舗什器、カート機器、セキュリティ製品など総合力を活かしたトータルソリューション提案を強化するとともに、感染防止対策に関する新しい需要の取り込みに努め、当第1四半期連結会計期間の赤字から黒字転換しましたが、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、41,272百万円（前年同四半期比12.6%減）、セグメント利益は、355百万円（前年同四半期比61.7%減）となりました。

#### ▶ 物流システム事業

物流システム事業につきましては、人手不足を背景とした省人・省力化への要望は強く、大型物流施設を中心に自動倉庫の需要は概ね計画通りに推移いたしました。このような状況のもと、優位性のある製品の強みを最大限に活かした積極的な提案活動を展開するとともに、施工現場での感染予防対策を徹底し、エンジニアリング体制の強化にも努めたことにより売上高、利益ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、7,427百万円（前年同四半期比4.5%増）、セグメント利益は、844百万円（前年同四半期比29.0%増）となり、売上高、利益ともに過去最高となりました。

### 配当金についての基本方針

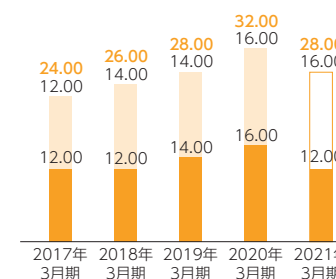
当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営の重要政策のひとつとして位置付けております。

利益配当政策につきましては、業績に応じた適正な利益配分を目指すとともに、財務状況、将来の事業展開及び内部留保などを総合的に勘案し、安定配当の維持にも努めてまいりたいと考えております。

#### ■ 配当金

第86期中間  
12円  
(年間28円)

単位：円  
■ 中間  
■ 期末  
□ 予想



# コロナ禍で変わる働き方 ニューノーマルな ワークスタイルを 見据えて

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、4月7日に緊急事態宣言が発令され、対象地域に指定された東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、兵庫県、福岡県に不要不急の外出自粛要請などが出されました。その後、4月16日には全都道府県へ対象地域が拡大されました。5月25日に緊急事態宣言は解除されましたが、いまだ感染拡大の警戒感はぬぐえない状況です。その一方で政府のGo To キャンペーンに代表されるように、感染予防策を講じつつ経済の活性化に向けた動きが活発化しています。

このような状況下でオカムラは、従業員に向けて働き方の基本ルールを提示し、随時対応策を更新、精力的に企業活動を進めています。

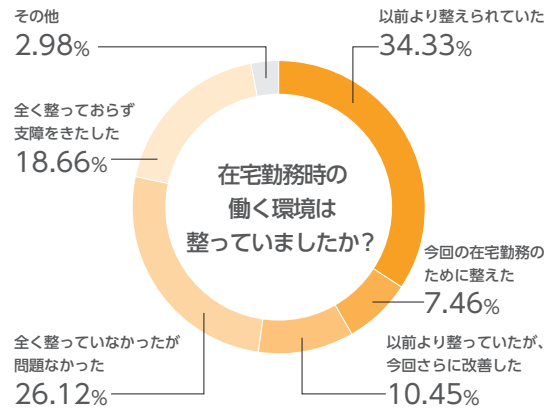
現在のフェーズ



## コロナ禍におけるオカムラの取り組み

### エマージェンシーコロナのフェーズ

#### 在宅勤務への対応



### ウィズコロナのフェーズ

#### 出社とテレワークのハイブリッド勤務を推進

### アフターコロナのフェーズ

#### ニューノーマルなワークスタイルの在り方を提案

緊急事態宣言下で育児・介護対象者だけでなく、多くのオカムラグループ社員が経験することになった在宅勤務。WORK MILL/ワークデザイン研究所がオカムラ社員に行った「新型コロナウイルス感染症対策としての在宅勤務調査」によると、働く環境が整っていたかについては、45%程度の人が働く環境が整わない状態で在宅勤務をしていることが判明しました。このうちの4割（全体の約18%）は環境が整っていないために仕事に支障をきたしていると答えています。

こうした状況を少しでも解消しようと実施されたのが、インテリア製品を中心とした在宅ワーク用家具のオカムラグループ社員向け特別価格販売です。5月末でいったん終了したものの、ニーズが高く8月に販売を再開しています。購入者からの率直な感想は、一般のお客様に向けた在宅ワーク用家具の販売にも活かされています。

#### 調査概要

調査期間 2020年4月5日～8日  
 調査方法 Webアンケート  
 回答者 オカムラ社員162名（デザイナー、研究職、コンサルタント、事務職など）  
 集計方法 単純集計

緊急事態宣言解除後は、感染予防対策を徹底しながら段階的に出社を促しつつ、テレワーク（レンタルオフィス、直行直帰、他拠点勤務、在宅勤務）との併用を推進しています。7月からはフレックス代休の先取りや1日の最低勤務時間を1時間からに変更したスーパーフレックス制度の運用も開始されました。

また、オフィス内の感染予防対策として、「アフターコロナに向けたワークプレイス戦略」を公開。安心・安全なワークプレイスとして、①距離・位置を保つ②仕切る③接触を減らす④清潔を保つ⑤新たな運用・ルールの構築をベースに、オカムラのラボオフィスで効果検証しながら、お客様に提案しています。

長引くコロナ禍において新たなワークスタイルやワークプレイスを試行したことで、さまざまなメリット・デメリットが浮かび上がってきました。さらなる検討を繰り返しながら、未来のワークシナリオを描き、ニューノーマルにつながる歩みを進めるために、オカムラは新たに「NEW NORMAL WORKPLACE PRINCIPLE」を公開しました。「これからの働き方を考える10+1の視点」から、ニューノーマルなワークスタイルの在り方を考えるためのアイデアを提示しています。



TOPICS  
01

第12回「関西ホテル・レストラン・ショー」に出展



7月29日～31日、インテックス大阪で第12回「関西ホテル・レストラン・ショー」が開催されました。外食・宿泊・レジャー業界に向けた商談展示会で、オカムラブースでは、自動搬送型荷物保管システム「BAGGAGE KEEPER (バゲッジキーパー)」を展示しました。人手不足や新型コロナウイルス感染症予防対策への解決の糸口として、ホテルやイベント関係者らから高い関心が寄せられました。



Check!

10月1日ニューオープンの「変なホテル奈良」に「BAGGAGE KEEPER」を初納入

TOPICS  
02

Okamura International (Singapore) Pte Ltd (OIS/オカムラインターナショナルシンガポール) が新ショールームをオープン



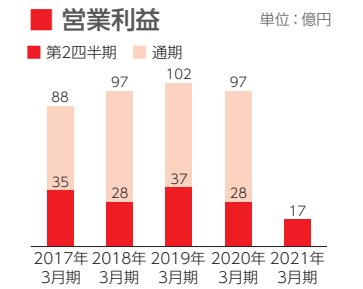
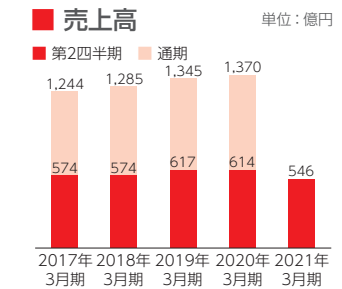
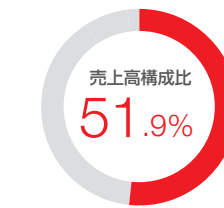
オカムラの連結子会社であるOISが、9月に新ショールームをオープンしました。オフィス街のメインストリートに位置し、2フロアで広さは446㎡です。観葉植物や外光の取り込み、木目調の内装などバイオフィリックデザインを取り入れた空間となっており、通りに面したガラス張りの1階は、家具の展示だけでなく、人々が集い交流するオープンな場としても使用できます。

ショールーム内に設置された高さ7mの棚には、国際的なデザインアワードを受賞したチェアを展示。座りたいチェアを選べると自動で取り出される仕掛けになっており、実際にチェアの機能や座り心地を体感できます。従来のオフィス家具に加え、近年需要の高いコラボレーション家具やマルチパーパス家具など最新の製品を、インテリアデザインの提案とともに展示しています。

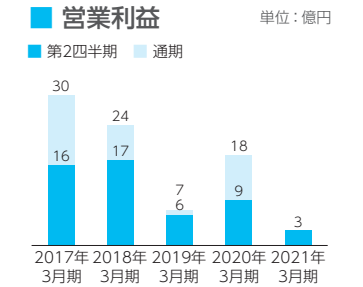
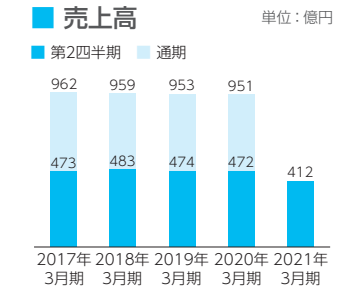
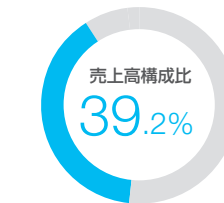
第86期 第2四半期 財務ハイライト (連結)

売上高	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
1,052億円 (前年同四半期比 11.1%減)	35億円 (前年同四半期比 31.8%減)	21億円 (前年同四半期比 37.0%減)

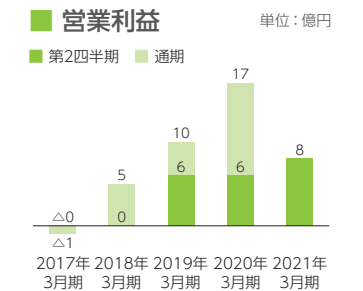
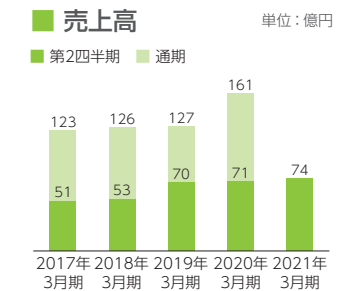
オフィス環境事業 | Office Furniture



商環境事業 | Store Displays



物流システム事業 | Material Handling Systems

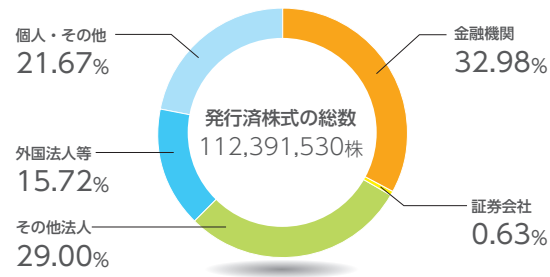


(注) 前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「物流システム事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

### 株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	112,391,530株
株主数	6,408名

### 所有者別株式分布状況



### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	10,023	9.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,328	5.74
三菱商事株式会社	6,300	5.71
オカムラグループ従業員持株会	6,300	5.71
明治安田生命保険相互会社	5,483	4.97
日本製鉄株式会社	5,313	4.82
株式会社三菱UFJ銀行	4,805	4.36
三井住友海上火災保険株式会社	4,236	3.84
オカムラ協会持株会	3,885	3.52
株式会社横浜銀行	2,853	2.59

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は、自己株式(2,067,724株)を控除して計算しております。

### 会社概要

設立	1946年7月
資本金	186億円
登記上本社	横浜市西区北幸二丁目7番18号
本社事務所	横浜市西区北幸一丁目4番1号
従業員数	3,900名

### 取締役及び監査役

地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役(社長執行役員)	中村 雅行	
取締役(専務執行役員)	菊池 繁治	オフィス営業本部長
取締役(専務執行役員)	土志田 貞一	コーポレート担当
取締役(専務執行役員)	山本 文雄	商環境事業本部長
取締役(常務執行役員)	山本 健一	生産本部長
取締役(執行役員)	福田 栄	コーポレート担当
取締役(社外)	塚本 光太郎	三菱商事(株) 常務執行役員総合素材グループCEO 株式会社メタルワン 取締役(非常勤)
取締役(社外)	浅野 広視	
取締役(社外)	伊藤 裕慶	関ヶ原ストーン・パートナーズ 社外監査役 昭和女子大学 国際交流センター長 兼 総合教育センター 特命教授
取締役(社外)	狩野 麻里	
監査役	岩田 寿一	
監査役	永井 則幸	
監査役(社外)	鈴木 祐一	弁護士
監査役(社外)	岸上 恵子	公認会計士

### 執行役員

地位	氏名	担当
常務執行役員	金子 肇	海外営業本部長
常務執行役員	河野 直木	オフィス営業本部 首都圏営業本部長
上席執行役員	井上 健	商環境事業本部 東日本営業本部長
上席執行役員	田尻 誠	物流システム事業本部長
上席執行役員	牧野 博	オフィス営業本部 テレコム営業本部長
上席執行役員	酒徳 真司	商環境事業本部 西日本営業本部長
上席執行役員	荒川 和巳	マーケティング本部長
執行役員	山下 佳一	物流システム事業本部 マーケティング部長
執行役員	佐藤 喜一	コーポレート担当
執行役員	近藤 岳文	オフィス営業本部 ライフサイエンス事業部長
執行役員	栗原 実良	生産本部 第二事業部長
執行役員	大野 嘉人	オフィス営業本部 働き方コンサルティング事業部長

### 当社の主要な工場

追浜事業所	(神奈川県横須賀市)
高島事業所	(山形県東置賜郡高島町)
つくば事業所	(茨城県つくば市)
富士事業所	(静岡県御殿場市)
御殿場事業所	(静岡県御殿場市)
中井工場	(神奈川県足柄上郡中井町)
鶴見事業所	(神奈川県横浜市)
パワートレーン事業部	(神奈川県横須賀市)

### 当社グループの主要な営業所及び工場

営業拠点	名称	所在地
営業拠点	奥カ姆拉(中国)有限公司	(中国)
	Okamura Salotto Hong Kong Limited	(中国)
	Siam Okamura International Co., Ltd.	(タイ)
製造拠点	株式会社関西オカムラ	(大阪府東大阪市)
	株式会社エヌエスオカムラ	(岩手県釜石市)
	株式会社山陽オカムラ	(岡山県高梁市)
	株式会社富士精工本社	(石川県能美市)
	杭州岡村伝動有限公司	(中国)
その他サービス拠点等	株式会社オカムラ サポート アンド サービス	(東京都千代田区)
	セック株式会社	(東京都中央区) (他24社 合計34社)

### 主なショールーム・博物館

オカムラ ガーデンコートショールーム	(東京都千代田区紀尾井町)
オカムラ 仙台ショールーム	(仙台市青葉区花京院)
オカムラ 名古屋ショールーム	(名古屋市中村区名駅)
オカムラ 大阪ショールーム	(大阪市北区大深町)
オカムラ 福岡ショールーム	(福岡市博多区博多駅前)
オカムラ Visplayショールーム	(東京都千代田区内神田)
オカムラ いすの博物館	(東京都千代田区永田町)

インターネットでオカムラの最新情報をご覧ください。  
オカムラウェブサイト <https://www.okamura.co.jp/>

オカムラ 検索



### 株主メモ

決算期  
3月31日

定時株主総会  
6月下旬

基準日  
3月31日

公告掲載新聞  
日本経済新聞

株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)  
郵送先 〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

### (ご注意)

株式に関する手続きのお届出先・ご照会先について  
○証券会社に口座を開設されている株主様は、口座を開設された証券会社等にお問合せください。  
○特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記、特別口座の口座管理機関の連絡先にお問合せください。



オフィス中央のFUNSUIエリア。大画面があるので、Web会議やイベントに最適



4人用のテレキューブを置いても天井から80cm空いているので、圧迫感を感じられません

Case Study

渋谷スクランブルスクエア「CO-EN LABO」

## 人と人との交流、社内外の人との縁（円）をつなぐ リビングスタイルオフィス

今年6月、渋谷スクランブルスクエアにオープンしたオカムラのラボオフィス「CO-EN LABO」。システム家具ではなくリビング家具をメインに配置し、曲線や円をモチーフにして、回遊できる動線を窓面に合わせて展開しているのが特長です。渋谷という場所柄、外部のクリエイターやデザイナー、さらに他部門の社員が交わり、新しい価値と人の縁が生まれる居心地の良いワークスペースとなっています。あえてエントランスをなくし、主動線に背の低いソファ家具を取り入れることで、オフィスを訪れた瞬間、最高の眺望が目の前に広がります。晴れた日には房総半島や富士山まで眺めることができます。

リビング家具は必要に応じて自由にレイアウトが変更で

きるのもメリットです。オフィスの大部分はフリーアドレスのため、ホテリング（席の事前予約制）を取り入れることで、「だれが」「いつ」「どこで」仕事をしていたのかを管理しています。

人との交流を大切にしていることもあり、オフィス内には間仕切りがなくオープンな雰囲気ですが、「集中したい」「クローズドのミーティングがしたい」という要望に応えるため、ドレープなどのワークブースを取り入れ、集中スペースもしっかり確保。テレキューブも導入しています。

コロナ禍を機に注目が高まるニューノーマルな働き方の実現に向けて、渋谷から新たなオフィスの在り方を提案・発信しています。

人を想い、場を創る。  
**okamura**

株式会社オカムラ

〒220-0004  
横浜市西区北幸二丁目7番18号  
TEL：045-319-3401（代）

